

## 地域づくりの方向5について ～みどりのネットワークを形成する環境のまち～

新基本計画体系案

現基本計画体系

【政策】		【施策】	
5-(1)	みどりの創造と保全	①	みどりの活動拠点の創造・育成
		②	みどりのネットワークの形成
5-(2)	環境の保全	①	脱炭素化地域社会づくりの推進
		②	自然との共生の推進
		③	地域美化の推進
		④	都市公害の防止
5-(3)	ごみ減量・清掃事業の推進	①	3Rの推進
		②	安定的で適正なごみ処理の推進

【政策】		【施策】	
5-(1)	みどりの創造と保全	①	みどりの拠点拡大
		②	みどりのネットワークの形成
5-(2)	環境の保全	①	低炭素地域社会づくりの推進
		②	自然との共生の推進
		③	地域美化の推進
		④	都市公害の防止
5-(3)	ごみ減量・清掃事業の推進	①	3Rの推進
		②	安定的で適正なごみ処理の推進

【変更理由】

- 5-(1)-①  
としまみどりの防災公園の整備完了により、当面の大きな公園整備は一区切りを迎えた。みどりの拠点拡大をしつつも、活用の段階へとシフトさせるため、「みどりの活動拠点の創造・育成」に変更する。
- 5-(2)-①  
平成31年3月改定の環境基本計画の体系を踏まえるとともに、ゼロカーボンシティを目指した豊島区として、一層の温室効果ガス排出削減を推進していく方向性を強く表現するため、「低炭素地域社会」の表現を「脱炭素化地域社会」に変更する。

## 施策 5 - 1 - 1 みどりの活動拠点の創造・育成



### 【目指すべきまちの姿】 SDGs を踏まえた2030年に実現するまちの姿

- 個性と魅力溢れる池袋駅周辺の4つの公園を核として、周辺の民間施設やグリーン大通りなどと連携し、国際アート・カルチャー都市のメインステージを育み支えるまち
- 誰もが快適に集い、憩える公園が、地域特性を踏まえて区内にバランスよく配置され、地域の多様な主体とともに育つまち

### 【取組方針】

#### 公園を核とした国際アート・カルチャー都市のメインステージの育成

池袋駅周辺では、南池袋公園の再整備をはじめ、区庁舎の跡地活用と連動した公園の再整備、東京芸術劇場と機能連携した野外劇場型の公園の再生、造幣局東京支局跡地を活用した区内最大の防災公園が誕生しています。こうした公園の多様な個性を生かしながら、歩行者優先の魅力あるまちづくりを進めていく必要があります。

4つの公園（池袋西口公園・中池袋公園・南池袋公園・イケ・サンパーク）と周辺の民間施設等が管理運営面で連携し、交流、表現、発信の舞台であり、アート・カルチャー活動の拠点としての機能を高め、多様な主体が参画しながら地域の魅力と価値を高めていきます。

【主な事業】 造幣局跡地公園整備事業

#### 地域とともにづくり育つ公園づくり

区内には中小規模の公園が数多く点在していますが、他都市と比べ公園の総量は不足しています。既存公園の維持管理や改修整備を進めながら、新たな公園を生み出していく必要があります。

産学公民が連携して対話の場を設け、公園活用の実証実験や管理手法の検討、新たな公園の整備プランの検討を行いながら、地域や子どもたちに喜ばれる公園づくりを進めていきます。

【主な事業】 中小規模公園活用事業

### 【施策の進捗状況を測る参考指標】

成果を測る参考指標	現状値 (2021年)	目標値 (2025年)	参考値 (2030年)	活動指標	現状値 (2020年)	目標値 (2025年)	参考値 (2030年)
「近くに好きな公園がある」と思う 区民の割合【%】	調査中	現状値を 踏まえ設定	現状値を 踏まえ設定	占有許可を含むイベントや花壇 の手入れなどの実施件数【件】	216件	250件	350件

# 5-1-1 施策内容チェックシート

## 1. 施策名変更


	新	旧
施策名	みどりの活動拠点の創造・育成	みどりの拠点拡大
<b>【変更理由】</b> ◇としまみどりの防災公園の整備完了により、当面の大きな公園整備は一区切りを迎えた。みどりの拠点拡大をしつつも、活用の段階へとシフトさせるため、「みどりの活動拠点の創造・育成」に変更する。		

## 2. 主な取組内容

新見出し	旧見出し
<b>●公園を核とした国際アート・カルチャー都市のメインステージの育成</b> ◇公園の改修及び再整備 ◇イベント等の実施 ◇官民で取り組む身近なみどりの増加	◇公園の改修及び再整備 ◇拠点となる公園の整備 ◇公園等の維持管理に関わる運営（公園施設改修事業） ◇民有地の緑化の支援
<b>●地域とともにつくり育つ公園づくり</b> ◇中小規模公園活用事業	

## 3. SDGsを意識した点

◇目指すべき街の姿として「多くの住民に利用される公園があるまち」や「公園を通じた地域の連携による持続可能な社会の実現」など、SDGsの視点を入れた。  
 ◇公園の活用に取り組む際に公民連携を意識した。

意識したゴール	意識したターゲット	意識したローカル指標
	11.7 安全で使いやすい緑地や公共スペースをすべての人が利用できるようにする 15.9 生態系と生物多様性の価値を計画・戦略・会計にくみこむ 16.6 説明責任があり透明性の高い公共機関の発展 17.17 公民、市民のパートナーシップ推進	11.7 人口当たりの公園数・公園面積 面積当たりの公園面積

## 4. サステナブル・リカバリーを意識した点 (after/withコロナに向けた取組、DX (ICT活用) を意識した点)

◇新型コロナウイルスの変異株の影響で、いつでも利用できるはずの公園が利用制限をしなくてはならない状況になっている。コロナ後は区民との連携を意識し、地域の活動拠点として公園活用の充実を目指す。

## 5. 参画と協働を意識した点

◇より良い公園づくりは、行政と区民や企業が連携していくことが大切である。このため、区民や地域団体、地元企業との協定による一部の維持管理や、話し合いの場に積極的に参加してもらい、一緒に公園活用を考えることを意識した。

## 指標設定に向けたチェックシート

施策名	5-1-1	みどりの活動拠点の創造・育成
部課名	都市整備部 公園緑地課	

### 【目指すべきまちの姿、取組方針と指標の対応関係】

目指すべきまちの姿	成果を測る参考指標	数値目標では捉えられない／現状数値化できない評価の視点	取組方針(見出し)	活動指標
個性と魅力溢れる池袋駅周辺の4つの公園を核として、周辺の民間施設やグリーン大通りなどと連携し、国際アート・カルチャー都市のメインステージを育み支えるまち	①「近くに好きな公園がある」と思う区民の割合【%】		→ 公園を核とした国際アート・カルチャー都市のメインステージの育成	②指定管理者や占用許可等によるイベントの受け付け件数【件】
誰もが快適に集い、憩える公園が、地域特性を踏まえて区内にバランスよく配置され、地域の多様な主体とともに育つまち	①「近くに好きな公園がある」と思う区民の割合【%】		→ 地域とともに作り育つ公園づくり	③占用許可を含むイベントや花壇の手入れなどの実施件数【件】

### 【施策の進捗状況を測る参考指標】 \* 今年度実績値が判明後に設定

指標名	区分	指標種別	2018年度実績値が判明後に設定													
			2018 実績値	2019 実績値	2020 実績値	2021 目標/実績値	2022 目標値	2023 目標値	2024 目標値	2025 目標値	2026 目標値	2027 目標値	2028 目標値	2029 目標値	2030 目標値	
① 「近くに好きな公園がある」と思う区民の割合【%】	新規	成果指標	—	—	—	調査中	*	*	*		現状値を踏まえ設定	*	*	*	*	現状値を踏まえ設定
② 指定管理者や占用許可等によるイベントの受け付け件数【件】	新規	活動指標	—	—	216	200	200	220	240	250	270	290	310	330	350	
③ 占用許可を含むイベントや花壇の手入れなどの実施件数【件】	新規	活動指標	—	—	216	200	200	220	240	250	270	290	310	330	350	
④																

指標	指標の算出方法	指標の設定理由(施策目標との関係)	出典
指標①	区民の意識調査で「近くに好きな公園がある」の項目で「どちらかというと思う」を選んだ人の割合	公園の実質的な状況を示す客観的な指標のため	協働のまちづくりに関する区民意識調査
指標②	公園緑地課で受けている占用等の受付件数のデータ	取り組みの成果を示す客観的な指標のため	所管課データ
指標③	公園緑地課で受けている占用等の受付件数のデータのうち実際実施した件数	取り組みの成果を示す客観的な指標のため	所管課データ
指標④			

### 【参考】現基本計画の「施策の達成度をはかる指標」

指標名	指標種別	区分	出典	2014 実績値	2020 目標値	2025 目標値	設定理由
公園の新設・改修面積(累計値)	活動指標	廃止	所管課データ	28,771㎡	58,100㎡	67,100㎡	公園の新設や改修は区内のみどりの拠点が増加したことを示す指標であるため

## 施策 5 - 1 - 2 みどりのネットワークの形成



### 【目指すべきまちの姿】 SDGs を踏まえた2030年に実現するまちの姿

○公共施設や公園、道路などの公共空間がみどりの拠点として整備が進み、みどりを守り・育てる意識の高い主体の連携を通じ、民有地も含めたみどり地同士が繋がった広がりのあるみどりの景観が築かれているまち。

### 【取組方針】

#### 都市空間の緑化推進

地面の蓄熱防止、都市防災・減災などのみどりの持つ機能をより効果的に発揮させるためには、街のみどり同士がつながり、一体的なひろがりをもたせることが求められています。

公園や公共施設、道路などの緑化を一層進めるとともに、**大規模開発時や住宅建て替え時などを活用し、民有地についても緑化を促進します。**

〔主な事業〕 街路美化事業／緑化推進事業

#### 多様な主体の連携・協働による緑化の推進

区内全域で緑化の取り組みを行っている個人・企業等が増えており、民有地も含めた緑化対策を進めていくためにも、個人・団体との連携・協働を進めていくことが求められています。

「グリーンとしま」再生プロジェクト実行委員会による緑化活動を行う他、**個人や団体等の活動を積極的にSNS等で発信するなど、より多くの主体の緑化活動参画を促進します。**

〔主な事業〕 「グリーンとしま」再生プロジェクト事業／みどりの啓発事業 等

### 【施策の進捗状況を測る参考指標】

成果を測る参考指標	現状値 (2020年)	目標値 (2025年)	参考値 (2030年)	活動指標	現状値 (2020年)	目標値 (2025年)	参考値 (2030年)
みどり率【%】	14.1	14.2	14.3	幹線道路の街路樹の設置割合【%】	79.0	83.0	87.0

# 5-1-2 施策内容チェックシート

## 1. 施策名変更

	新	旧
施策名	同右	みどりのネットワークの形成
[変更理由]		

## 2. 主な取組内容

新見出し	旧見出し
<ul style="list-style-type: none"> <li>●都市空間の緑化推進</li> <li>◇街路樹美化事業の推進</li> <li>◇民有地の緑化推進</li> </ul>	◇街路樹美化事業の推進
<ul style="list-style-type: none"> <li>●多様な主体の連携・協働による緑化の推進</li> <li>◇多様な主体の連携・協働による緑化の推進</li> <li>◇緑化活動の支援の充実</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇多様な主体の連携・協働による緑化の推進</li> <li>◇緑化活動の支援の充実</li> </ul>

## 3. SDGsを意識した点

◇ヒートアイランド現象の緩和など快適なまちづくりを踏まえた環境都市づくりを意識した緑化を主眼としている。  
 ◇区の見直しとともに、多様な主体との連携・協働を促すことの両面から取り組む。

### 意識したゴール



### 意識したターゲット

3.D 国内および世界で発生する毛の宇リスクの早期警告とリスク軽減・管理のための能力強化  
 11.7 安全で使いやすい緑地や公共スペースを、すべての人が利用できるようにする  
 13.3 気候変動の緩和、適応、影響軽減及び早期警戒に関する教育、啓発、人的能力及び制度機能の改善  
 17.17 公民、市民とのパートナーシップ

### 意識したローカル指標

11.7 人口当たりの公園数・公園面積  
 17.17 地域サポーターを設置している市町村の割合

## 4. サステナブル・リカバリーを意識した点 (after/withコロナに向けた取組、DX (ICT活用) を意識した点)

◇デジタル化や在宅勤務等が加速する中、地域の人たちが関わり合いながら、リアルな自然を体感できる都市のみどりを増やしていく。活動内容などをSNS等への掲載することなどにより、新しいかたちの連携・関係づくりを構築していく。

## 5. 参画と協働を意識した点

◇区民や事業者が施策への参画を促し、地域が主体となって地域の緑化に取り組む施策としている。



## 指標設定に向けたチェックシート

施策名	5-1-2	みどりのネットワークの形成
部課名	環境清掃部環境政策課・都市整備部公園緑地課	

### 【目指すべきまちの姿、取組方針と指標の対応関係】

目指すべきまちの姿	成果を測る参考指標	数値目標では捉えられない／現状数値化できない評価の視点	取組方針(見出し)	活動指標
公共施設や公園、道路などの公共空間がみどりの拠点として整備が進み、みどりを守り・育てる意識の高い主体の連携を通じ、民有地も含めたみどり地同士がつながった広がりのあるみどりの景観が築かれているまち。	①みどり率【%】	緑化だけでなく、見て触って楽しめる質の高いみどりの保全、創出	→ 都市空間の緑化推進	②幹線道路の街路樹の設置割合【%】
同上	③大規模開発に伴うエリアマネジメントの設立数【件】		→ 多様な主体の連携・協働による緑化の推進	④植樹本数(苗木配布本数を含む)【本】

### 【施策の進捗状況を測る参考指標】

指標名		区分	指標種別	2018実績値	2019実績値	2020実績値	2021目標/実績値	2022目標値	2023目標値	2024目標値	2025目標値	2026目標値	2027目標値	2028目標値	2029目標値	2030目標値
①	みどり率【%】	新規	成果指標	13.9	14.0	14.1	14.2	14.2	14.2	14.2	14.2	14.2	14.3	14.3	14.3	14.3
②	幹線道路の街路樹の設置割合【%】	継続	活動指標	78	78	79	79	80	81	82	83	83	84	85	86	87
③	大規模開発に伴うエリアマネジメントの設立数【件】	新規	成果指標	1	2	2	2	2	2	2	3	3	3	4	4	5
④	植樹本数(苗木配布本数を含む)【本】	新規	活動指標	103,275	109,976	126,744	130,000	135,000	140,000	146,000	152,000	160,000	168,000	178,000	188,000	200,000

	指標の算出方法	指標の設定理由(施策目標との関係)	出典
指標①	従来の緑被率に「河川等の水面の占める割合」と「公園内で樹林等以外の面積の割合」を加えた割合	取り組み活動を示す客観的な指標のため	所管課データ
指標②	街路樹設置済み面積/幹線道路における街路樹設置可能面積	設置割合は区内のみどりが増加し、みどりのネットワークの実質的な状況を示す客観的な指標のため	所管課データ
指標③	大規模開発の際に地権利者、開発事業者、住民などで設立される組織体の数	取り組み成果を示す客観的な指標のため	所管課データ
指標④	グリーンとしま生成プロジェクト等による公共施設等の植樹本数と誕生記念樹等で配布事業で配布した苗木本数の合計(同プロジェクト開始以降の累計)	公民の連携した「グリーンとしま」再生プロジェクト事業の植樹本数は、その緑化活動の活動量を示す指標であるため	所管課データ

### 【参考】現基本計画の「施策の達成度をはかる指標」

指標名	指標種別	区分	出典	2014実績値	2020目標値	2025目標値	設定理由
街路樹の設置割合	成果指標	継続	所管課データ	77.8%	80.0%	87.0%	設置割合の増加は、区内のみどりが増加し、みどりのネットワークが形成されていることを示す指標であるため

## 施策 5 - 2 - 1 脱炭素化地域社会づくりの推進



### 【目指すべきまちの姿】 SDGs を踏まえた2030年に実現するまちの姿

- 地球への環境負荷を軽減するための、省エネルギー設備の導入や再生可能エネルギーへの切り替えが進み、**日常生活や事業活動の脱炭素化が進んだまち。**
- 区民や事業者の環境課題への関心が高く、**各主体が環境負荷に配慮したライフスタイルに転換されたまち。**

### 【取組方針】

#### 再生可能エネルギー導入の促進

気候変動の影響により、世界規模で大規模な自然災害が頻発しており、その主たる要因である温室効果ガスの排出を抑制していくことが不可欠となっています。

区民や事業者に対し、炭素由来のエネルギーに代わる再生可能エネルギーの普及を進めます。

[主な事業] エコ住宅・事業者普及促進事業/庁内地球温暖化対策事業

#### 区民・事業者の環境配慮行動の促進

家庭やオフィスビル等から排出される温室効果ガスは区全体の排出量の約7割を占めており、一人でも多くの区民や事業所が地球温暖化への関心や意識を高め、省エネルギー・節電を意識した生活・企業活動を促進させる必要があります。

環境問題の啓発活動の実施や省エネルギー設備等の導入支援、**環境にやさしい行動促進（クールチョイス）の周知等により環境配慮行動を促進します。**

[主な事業] クールチョイス（COOL CHOICE）推進事業/環境教育・啓発事業

### 【施策の進捗状況を測る参考指標】

成果を測る参考指標	現状値 (2018年)	目標値 (2025年)	参考値 (2030年)	活動指標	現状値 (2020年)	目標値 (2025年)	参考値 (2030年)
区内温室効果ガス排出量 【千 t -CO <sub>2</sub> 】	1,580	1,181	900	再生可能・省エネルギー機器等 導入助成累計【件】	2,192	2,800	3,500



# 5-2-1 施策内容チェックシート


## 1. 施策名変更

	新	旧
施策名	脱炭素化地域社会づくりの推進	低炭素地域社会づくりの推進
<b>【主な変更内容】</b> ◇平成31年3月改定の環境基本計画の体系を踏まえるとともに、ゼロカーボンシティを目指した豊島区として、一層の温室効果ガス排出削減を推進していく方向性を強く表現するため、「低炭素地域社会」の表現を「脱炭素化地域社会」に変更する。		

## 2. 主な取組内容

新見出し	旧見出し
<b>●再生可能エネルギーの導入の促進</b> ◇家庭における再エネ・省エネ・節電の取り組みの促進 ◇事業所における省エネ・節電の取り組みの支援 ◇再生可能エネルギーの普及拡大	◇家庭における再エネ・省エネ・節電の取り組みの促進 ◇事業所における省エネ・節電の取り組みの支援 ◇再生可能エネルギーの普及拡大
<b>●区民・事業者の環境配慮行動の促進</b> ◇住民・事業者の環境配慮行動の促進	◇住民参加型の再生可能エネルギー導入の促進

## 3. SDGsを意識した点

◇クリーンなエネルギー導入や気候変動への対策といった、SDGsのターゲットを目指すまちの姿に明記するとともに、取り組み方針の柱として位置付けた。 ◇区民や事業者の環境行動配慮を取り組み方針として、各主体が政策の担い手としている。		
<b>意識したゴール</b> 	<b>意識したターゲット</b> 7.2 再生可能エネルギー割合の大幅な増加 7.3 エネルギー効率の改善率を倍増 13.2 気候変動対策を政策・戦略に盛り込む	<b>意識したローカル指標</b> 7.2 世帯当たりの太陽光発電設置割合

## 4. サステナブル・リカバリーを意識した点 (after/withコロナに向けた取組、DX (ICT活用) を意識した点)

◇再生可能エネルギーの利用促進や省エネ機器の助成申請等には手続きの電子化を想定するとともに、設備の普及が進むことによるグリーンリカバリーを視野に入れている。
--

## 5. 参画と協働を意識した点

◇環境に係る行動変容を促す取り組みとし、区民や事業者が施策への参画を促す構成としている。
--

## 指標設定に向けたチェックシート

施策名	5-2-1	脱炭素化地域社会づくりの推進
部課名	環境清掃部環境政策課	

### 【目指すべきまちの姿、取組方針と指標の対応関係】

目指すべきまちの姿	成果を測る参考指標	数値目標では捉えられない／現状数値化できない評価の視点	取組方針(見出し)	活動指標
地球への負荷環境負荷を軽減するための、省エネルギー設備や再生可能エネルギー切り替えが進み、日常生活や事業活動の脱炭素化が進んだまち。	①区内温室効果ガス排出量【千t-CO <sub>2</sub> 】	区内電力量のうち、再生可能エネルギーの占める割合	→ 再生可能エネルギー導入の促進	②再生可能・省エネルギー機器等導入助成累計【件】
区民や事業者の環境課題への関心が高く、各主体が環境負荷に配慮したライフスタイルに転換されたまち。	③「CO <sub>2</sub> 排出量削減に向けた事業者・区民への支援が充実している」と思う区民の割合【%】	環境に配慮した行動をとっている区民数区民の割合【%】	→ 区民・事業者の環境配慮行動の促進	④環境啓発講座等の参加人数【人】

### 【施策の進捗状況を測る参考指標】

指標名		区分	指標種別	2018実績値	2019実績値	2020実績値	2021目標/実績値	2022目標値	2023目標値	2024目標値	2025目標値	2026目標値	2027目標値	2028目標値	2029目標値	2030目標値
①	区内温室効果ガス排出量【千t-CO <sub>2</sub> 】	新規	成果指標	1,580	1,523 (目標値)	1,466 (目標値)	1,409	1,352	1,295	1,238	1,181	1,124	1,068	1,012	956	900
②	再生可能・省エネルギー機器等導入助成累計【件】	継続	活動指標	1,933	2,063	2,192	2,312	2,440	2,560	2,680	2,800	2,940	3,080	3,220	3,360	3,500
③	「CO <sub>2</sub> 排出量削減に向けた事業者・区民への支援が充実している」と思う区民の割合【%】	新規	成果指標	6.5%	5.3%	4.8%	5.3%	6.5%	8.0%	9.5%	11.0%	13.0%	15.0%	17.0%	19.0%	21.0%
④	環境啓発講座等の参加累計人数【人】	新規	活動指標	1,032	1,381	1,522	1,682	1,900	2,100	2,300	2,500	2,700	2,900	3,100	3,300	3,500

	指標の算出方法	指標の設定理由(施策目標との関係)	出典
指標①	豊島区内における温室効果ガス排出量総量【千t-CO <sub>2</sub> 】	脱炭素化の最終目標である温室効果ガス削減の資料となる排出総量を指標とした	オール東京62区市町村共同事業「みどり東京・温暖化プロジェクト」
指標②	再生可能・省エネルギー機器等導入に係る区助成累計数	区民や事業者に対して、再生可能エネルギーや新エネルギー等の導入支援の活動量を示す指標であるため	所管課データ
指標③	区民意識調査の⑦みどり・環境の同質問に「どちらかというと思う」と回答した人の割合	CO <sub>2</sub> 排出量削減に向けた事業者・区民への支援についての客観的な指標のため	協働のまちづくりに関する区民意識調査
指標④	自然観察会や生きものさがし等、区主催講座への参加者の累計	環境問題の啓発活動の成果を示す客観的な指標のため	所管課データ

### 【参考】現基本計画の「施策の達成度をはかる指標」

指標名	指標種別	区分	出典	2014実績値	2020目標値	2025目標値	設定理由
再生可能エネルギー及び省エネルギー機器等導入助成(累計件数)	活動指標	継続	所管課データ	1,496件	2,100件	2,600件	家庭や事業所での省エネ・節電の取組の成果を示す指標であるため
エネルギー消費量(単位:TJ)	成果指標	廃止	所管課データ	16,351 (平成17年度比9.3%減)	15,452 (平成17年度比14.3%減)	13,528 (平成17年度比29%減)	エネルギー消費量の減少は、低炭素地域社会への取組の成果を示す指標であるため

## 施策 5 - 2 - 2 自然との共生の推進



### 【目指すべきまちの姿】 SDGs を踏まえた2030年に実現するまちの姿

- 高度に都市化が進んだ中でも、公園や公共施設などの自然生態系が保全され、多様な生きものが生息しつづけるまち。
- 安らぎや潤いを与える自然環境に触れ合う機会が提供され、区民が生物多様性を理解し、生態系の調査・学習活動に主体的に参画するまち。

### 【取組方針】

#### 自然環境の保全と創出

地球上に生存する生きもののうち1年間に約4万種が絶滅しており、都市においても貴重な生態系を保全し、多様な生物の生息を確保していくことが求められています。

生きものが生息しやすいみどりや水辺等を保全するとともに、新たな生態環境を創出し、みどりと水のネットワークを形成します。また、保全団体の活動支援や相互連携を推進します。

[主な事業] グリーンとしま再生プロジェクト事業 / 生物多様性支援事業

#### 学習・参加機会の提供

多様な生態系が維持されていることにより、私たちの日常生活は様々な恩恵を受けていますが、その重要性に対する区民理解はまだ、進んでいない状況です。

区民参加型の生態調査の実施や学校の環境教育を活用した体験学習、カーボンオフセット実施都市との交流事業などにより、実際の自然を体験する機会を増やしていきます。

[主な事業] 生物多様性支援事業 / 環境教育・啓発事業 / 自治体間連携によるカーボンオフセット事業

### 【施策の進捗状況を測る参考指標】

成果を測る参考指標	現状値 (2020年)	目標値 (2025年)	参考値 (2030年)
「多様な生きものが生息・生育できる環境づくりが進んでいる」と思う区民の割合【%】	9.3	17.0	27.0

活動指標	現状値 (2020年)	目標値 (2025年)	参考値 (2030年)
生きもの調査等に参加する区民(累計)【人】	687	883	1,258

# 5-2-2施策内容チェックシート

## 1. 施策名変更

	新	旧
施策名	同右	自然との共生の推進
[変更理由]		

## 2. 主な取組内容

新見出し	旧見出し
<b>●自然環境の保全と創出</b> ◇みどりと水のネットワークの形成 ◇大規模緑地の保全等の推進	◇みどりと水のネットワークの形成 ◇大規模緑地の保全等の推進
<b>●学習・参加機会の提供</b> ◇身近な自然に触れ合う機会の確保 ◇生物多様性に関する情報の収集・共有・活用 ◇多様な主体への支援 ◇区民参画による環境理解・体験の促進	◇身近な自然に触れ合う機会の確保 ◇生物多様性に関する情報の収集・共有・活用 ◇多様な主体への支援

## 3. SDGsを意識した点

◇地球環境の恩恵を受けている生態系の保全を意識し、みどりや昆虫や鳥などの生きものに係る理解・保護促進を取り組み方針とした。  
 ◇行政からの一方的な施策ではなく、区民や事業者の環境行動配慮を取り組み方針として、各主体を政策の担い手とした。

### 意識したゴール



### 意識したターゲット

13.2 気候変動対策を政策・戦略に盛り込む  
 13.3 気候変動の緩和、適応、影響軽減及び早期警戒に関する教育、啓発、人的能力及び制度機能の改善  
 15.1 陸域生態系と内陸淡水生態系の保全、回復及び持続可能な利用の確保  
 15.9 生態系と生物多様性の価値を計画・戦略・会計に盛り込む

### 意識したローカル指標

15.9 生物多様性地域戦略に基づく計画の策定

## 4. サステナブル・リカバリーを意識した点 (after/withコロナに向けた取組、DX (ICT活用) を意識した点)

◇学習機会・参加促進については、在宅等、様々な場所でも取り組みが進められるようWeb等の活用を想定。

## 5. 参画と協働を意識した点

◇環境に係る行動変容を促す取り組みとし、区民や事業者が施策への参画を促す構成としている。

## 指標設定に向けたチェックシート

施策名	5-2-2	自然との共生の推進
部課名	環境清掃部環境政策課	

### 【目指すべきまちの姿、取組方針と指標の対応関係】

目指すべきまちの姿	成果を測る参考指標	数値目標では捉えられない／現状数値化できない評価の視点	取組方針(見出し)	活動指標
高度に都市化が進んだ中でも、公園や公共施設などの自然生態系が保全され、多様な生きものが生息しつづけるまち。	①「多様な生きものが生息・生育できる環境づくりが進んでいる」と思う区民の割合【%】	実際に区内に生息している生物種類数・生息数、緑化以外の生態系の実態	→ 自然環境の保全と創出	②学校・公立公園のビオトープ数【箇所】
安らぎや潤いを与える自然環境に触れ合う機会が提供され、区民が生物多様性を理解し、生態系の調査・学習活動に主体的に参画するまち。	③生きもの調査等に参加する区民(累計)【人】	生態系等に自主的に活動している団体数	→ 学習・参加機会の提供	④カーボンオフセット実施都市交流体験事業参加人数(累計)【人】

### 【施策の進捗状況を測る参考指標】

指標名		区分	指標種別	2018実績値	2019実績値	2020実績値	2021目標/実績値	2022目標値	2023目標値	2024目標値	2025目標値	2026目標値	2027目標値	2028目標値	2029目標値	2030目標値
①	「多様な生きものが生息・生育できる環境づくりが進んでいる」と思う区民の割合【%】	新規	成果指標	8.4	7.7	9.3	11.0	12.5	14.0	15.5	17.0	19.0	21.0	23.0	25.0	27.0
②	学校・公立公園のビオトープ数【箇所】	新規	活動指標	19	19	19	20	20	20	20	20	20	21	21	21	21
③	生きもの調査等に参加する区民(累計)【人】	継続	成果指標	398	590	687	583	658	733	808	883	958	1,033	1,108	1,183	1,258
④	カーボンオフセット実施都市交流体験事業参加人数(累計)【人】	新規	活動指標	-	34	34	90	150	210	270	330	390	450	510	570	630

	指標の算出方法	指標の設定理由(施策目標との関係)	出典
指標①	区民意識調査の⑦みどり・環境の同質問に「どちらかというと思う」と回答した人の割合	区内の生物多様性の状況に対する客観的な指標のため	協働のまちづくりに関する区民意識調査
指標②	学校や公立公園に設置されているビオトープの数	生きものが生息しやすい場所の数を示す指標であるため	所管課データ
指標③	区民参加型生態系調査事業「生態系調査生きものさがし」への参加推計人数	区内の生息状況を把握するために、自ら生態系調査に参加し、レポートを作成した人数であるため	所管課データ
指標④	カーボンオフセット実施都市交流体験事業参加人数の累計	森林整備等を通じた自然体験に参加した人数を示す指標であるため	所管課データ

### 【参考】現基本計画の「施策の達成度をはかる指標」

指標名	指標種別	区分	出典	2014実績値	2020目標値	2025目標値	設定理由
自然観察会、生きもの調査等に参加する区民の数(累計)	成果指標	継続	所管課データ	66人	1,030人	1,780人	区民の生物多様性への理解と関心の度合いを示すとともに、事業への参加を通じて生物多様性への理解と関心をより一層高め、自然との共生に繋がっていくと考えられるため



## 施策 5 - 2 - 3 地域美化の推進

【目指すべきまちの姿】 SDGs を踏まえた2030年に実現するまちの姿

- 喫煙・ポイ捨てに関するルールの徹底により、路上喫煙やポイ捨てが減少し、生活環境が良好に保たれ、安全で快適に過ごすことができるまち。
- 区民一人ひとりの環境美化に対する意識が高まり、多様な主体との協働による美化活動を通じて、地域的美観が維持された、さわやかな住みよいまち。



### 【取組方針】

#### 路上喫煙・ポイ捨て防止対策の推進

路上喫煙やポイ捨てに関するルールの普及啓発を進めていますが、依然として苦情が多く寄せられているため、受動喫煙対策も踏まえ、喫煙者のモラルやマナーの向上に向けたさらなる取組が必要です。

効果的なパトロールの実施や使いやすい喫煙場所を提供し、たばこの火による事故や煙の分散を防ぐとともに、区におけるルールの周知や啓発活動を行います。

【主な事業】 路上喫煙・ポイ捨て防止事業 / 路上喫煙・ポイ捨て防止パトロール

#### 多様な主体による環境美化活動の推進

地域での環境美化活動を推進していますが、継続的な活動や区および活動主体間での連携に至っていないため、その改善が必要です。

まちの美化活動をさらに継続・発展させていくため、まちの美化に対する区民等の意識向上につながる取組を強化するとともに、多様な主体との連携を深める仕組みづくりや地域に根差した環境美化活動の促進を図ります。

【主な事業】 環境美化事業 / もっときれいな街づくり推進事業（としまシルバースターズ）

### 【施策の進捗状況を測る参考指標】

成果を測る参考指標	現状値 (2020年)	目標値 (2025年)	参考値 (2030年)
路上喫煙率【%】	0.05	0.04	0.03

活動指標	現状値 (2020年)	目標値 (2025年)	参考値 (2030年)
環境美化に関する活動への参加人数【人】	523※	11,576	14,771

※感染症防止の観点からごみゼロデー中止等の影響による



# 5-2-3 施策内容チェックシート


## 1. 施策名変更

	新	旧
施策名	同右	地域美化の推進
[変更理由]		

## 2. 主な取組内容

新見出し	旧見出し
<ul style="list-style-type: none"> <li>●路上喫煙・ポイ捨て防止対策の推進</li> <li>◇路上喫煙・ポイ捨て防止対策の推進</li> </ul>	◇路上喫煙対策の推進
<ul style="list-style-type: none"> <li>●多様な主体による環境美化活動の推進</li> <li>◇多様な主体による環境美化活動の推進</li> </ul>	◇美化活動支援の充実

## 3. SDGsを意識した点

<p>◇目指すべきまちの姿として、「生活環境が良好に保たれ、安全で快適に過ごすことができるまち」や「環境美化に対する意識の高まり」、「多様な主体との協働」など、SDGsの視点を盛り込んだ。</p> <p>◇取り組む際には、アクティブシニアなどとの連携も意識し、働き甲斐の創出などの実現も目指す。</p>		
<p><b>意識したゴール</b></p> 	<p><b>意識したターゲット</b></p> <p>3.a たばこの規制に関する世界保健機関枠組条約の実施を強化する</p> <p>8.5 完全かつ生産的な雇用と働き甲斐のある人間らしい仕事（ディーセント・ワーク）の実現、同一労働同一賃金の達成</p> <p>11.7 安全で使いやすい緑地や公共スペースを、すべての人が利用できるようにする</p> <p>12.8 自然と調和したライフスタイルに関する情報と意識醸成の推進</p> <p>17.17 公民、市民のパートナーシップ推進</p>	<p><b>意識したローカル指標</b></p> <p>3.a 喫煙率</p>

## 4. サステナブル・リカバリーを意識した点（after/withコロナに向けた取組、DX（ICT活用）を意識した点）

<p>◇新型コロナウイルスの影響により感染症対策に即した取り組みが求められている。ごみゼロデーやキャンペーン、地域の美化活動等、時代のニーズに合った環境美化活動を推進する。</p>
--

## 5. 参画と協働を意識した点

<p>◇地域的美観維持には、持続的かつ、多様な主体による環境美化活動が不可欠であり、活動の主体や活動の幅を広げるため、連携を深める仕組みづくりや地域に根差した環境美化活動を促進させることを明記した。</p>
---

## 指標設定に向けたチェックシート

施策名	5-2-3	地域美化の推進
部課名	環境清掃部環境保全課	

### 【目指すべきまちの姿、取組方針と指標の対応関係】

目指すべきまちの姿	成果を測る参考指標	数値目標では捉えられない／現状数値化できない評価の視点	取組方針(見出し)	活動指標
喫煙・ポイ捨てに関するルールの徹底により、路上喫煙やポイ捨てが減少し、生活環境が良好に保たれ、安全で快適に過ごすことができるまち。	①路上喫煙率【%】	豊島区ルールの認知度向上、喫煙者のモラル・マナーの向上、環境美化に対する意識の向上、区民・地域・事業者等との連携による相乗効果	→ 路上喫煙・ポイ捨て防止対策の推進	②路上喫煙・ポイ捨て防止パトロールの指導件数【件】
区民一人ひとりの環境美化に対する意識が高まり、多様な主体との協働による美化活動を通じて、地域の美観が維持された、さわやかな住みよいまち。	③「道路や公園、街角などにポイ捨てや落書きがなくなきれいである」と思う区民の割合【%】	区民・地域・事業者等との連携による相乗効果、環境美化に対する意識の向上	→ 多様な主体による環境美化活動の推進	④環境美化に関する活動への参加人数【人】

### 【施策の進捗状況を測る参考指標】

指標名	区分	指標種別	2018年度～2030年度実績・目標													
			2018実績値	2019実績値	2020実績値	2021目標/実績値	2022目標値	2023目標値	2024目標値	2025目標値	2026目標値	2027目標値	2028目標値	2029目標値	2030目標値	
① 路上喫煙率【%】	新規	成果指標	0.06%	0.06%	0.05%	0.05%	0.05%	0.05%	0.04%	0.04%	0.04%	0.04%	0.04%	0.03%	0.03%	0.03%
② 路上喫煙・ポイ捨て防止パトロールの指導件数【件】	新規	活動指標	33,906	38,004	42,679	42,700	42,800	42,900	43,000	43,100	43,200	43,300	43,400	43,500	43,600	43,600
③ 「道路や公園、街角などにポイ捨てや落書きがなくなきれいである」と思う区民の割合【%】	継続	成果指標	31.7%	30.8%	33.1%	33.2%	33.4%	33.6%	33.8%	34.0%	34.2%	34.4%	34.6%	34.8%	35.0%	35.0%
④ 環境美化に関する活動への参加人数【人】	継続	活動指標	17,984	14,984	523	400	10,000	10,500	11,025	11,576	12,154	12,761	13,399	14,068	14,771	14,771

指標	指標の算出方法	指標の設定理由(施策目標との関係)	出典
指標①	路上喫煙率(%) = 喫煙者 ÷ 通過者 × 100	路上喫煙の状況を示す客観的な指標のため	環境年次報告書
指標②	路上喫煙パトロール指導件数	路上喫煙・ポイ捨て防止の普及啓発に関する活動量を示す指標であるため	環境年次報告書
指標③	区民意識調査の⑦みどり・環境の同質問に「どちらかというと思う」と回答した人の割合	環境美化活動の成果を示す客観的な指標のため	協働のまちづくりに関する区民意識調査
指標④	ごみゼロデー、環境美化活動、地域落書き消去活動、地域ガム取り活動、ガム取り支援活動の参加人数	環境美化活動に関する活動量を示す指標であるため	環境年次報告書

### 【参考】現基本計画の「施策の達成度をはかる指標」

指標名	指標種別	区分	出典	2014実績値	2020目標値	2025目標値	設定理由
環境美化支援活動の参加人数	成果指標	継続	平成26年度豊島区環境年次報告書	3,126人	3,500人	4,000人	地域での自主的な美化活動を示す指標であるため
「道路や公園、街角などにポイ捨てや落書きがなくなきれいである」について、肯定的な回答をする区民の割合	成果指標	継続	豊島区基本計画策定のための区民意識調査報告書	20.7%	25.7%	31.7%	地域での自主的な美化活動を示す指標であるため

## 施策 5 - 2 - 4 都市公害の防止

【目指すべきまちの姿】 SDGs を踏まえた2030年に実現するまちの姿



- 大気汚染状況の改善により光化学スモッグが発生することなく、快適な大気環境のまち。
- 工事の際の騒音振動や石綿（アスベスト）飛散による環境リスクの低減が図られ、安全で安心して暮らせるまち。

### 【取組方針】

#### 快適な大気環境の実現

都内の大気汚染状況は改善傾向にありますが、光化学オキシダントに関しては環境基準が達成できておらず、光化学スモッグが発生しているため、その原因物質であるVOC（揮発性有機化合物）の発生を抑制する必要があります。

事業者等に対する指導や周知啓発により、VOC（揮発性有機化合物）の排出抑制を推進します。

【主な事業】 化学物質の調査・適正管理

#### 工事現場における環境リスクの低減

建築物の解体工事件数は増加傾向にあり、騒音振動や石綿（アスベスト）飛散に関する相談や苦情が増加することが予想されるため、工事現場における環境リスクをより低減する取組が必要です。

解体工事現場への立入検査により、騒音振動や石綿（アスベスト）対策に関する事業者の適切な施工及び法令順守の徹底を推進するとともに、区民からの相談や苦情に迅速に対応します。

【主な事業】 化学物質の調査・適正管理

### 【施策の進捗状況を測る参考指標】

成果を測る参考指標	現状値 (2020年)	目標値 (2025年)	参考値 (2030年)
VOC（揮発性有機化合物）排出量【kg】	9,273	8,340	7,500

活動指標	現状値 (2020年)	目標値 (2025年)	参考値 (2030年)
解体工場現場への立入検査件数【件】	61	260	360

# 5-2-4 施策内容チェックシート

## 1. 施策名変更


	新	旧
施策名	同右	都市公害の防止
[変更理由]		

## 2. 主な取組内容

新見出し	旧見出し
<b>● 快適な大気環境の実現</b> ◇環境調査の実施及び監視、区民への周知 ◇VOC（揮発性有機化合物）の排出抑制	◇環境調査の着実な実施 ◇VOC（揮発性有機化合物）の排出抑制
<b>● 工事現場における環境リスクの低減</b> ◇石綿（アスベスト）の飛散防止の徹底 ◇公害苦情の迅速な処理及び未然防止	◇石綿（アスベスト）の飛散防止等の徹底 ◇公害苦情の迅速な処理

## 3. SDGsを意識した点

◇目指すべきまちの姿として「快適な大気環境のまち」や「安全で安心して暮らせるまち」など、SDGsの視点を盛り込んだ。  
 ◇すべての人々の健康的な生活や環境への悪影響を最小限に抑えることを意識した取り組みを盛り込んだ。

意識したゴール	意識したターゲット	意識したローカル指標
	3.9 有害化学物質、大気、水質、土壌汚染による死亡及び疾病件数の大幅な減少 6.3 汚染の減少、投棄の廃絶と有害な化学物質の放出の最小化、未処理の排水の割合半減及び再生利用と安全な再利用による水質改善 11.6 大気の質改善・廃棄物管理に注力し、都市の環境上の悪影響を軽減 12.4 化学物質や廃棄物を管理し、環境への放出を大幅に削減	3.9 10万人当たりの公害苦情件数 11.6 微小粒子状物質年平均値 光化学オキシダント濃度の昼間1時間値が0.12ppm以上であった日数 窒素酸化物、二酸化硫黄年平均値

## 4. サステナブル・リカバリーを意識した点 (after/withコロナに向けた取組、DX (ICT活用) を意識した点)

◇新型コロナウイルス感染予防のため、対面によらない対応の需要が増している。電子による受付などICT推進を目指す。

## 5. 参画と協働を意識した点

◇大気汚染の改善には、区民や事業者のVOC排出抑制の協力が必要であるため、取り組みを促す点を意識した。

## 指標設定に向けたチェックシート

施策名	5-2-4	都市公害の防止
部課名	環境清掃部 環境保全課	

### 【目指すべきまちの姿、取組方針と指標の対応関係】

目指すべきまちの姿	成果を測る参考指標	数値目標では捉えられない／現状数値化できない評価の視点	取組方針(見出し)	活動指標
大気汚染状況の改善により光化学スモッグが発生することなく、快適な大気環境のまち	①VOC(揮発性有機化合物)排出量【kg】	大気中VOC濃度、家庭や自動車等異動発生源からのVOC排出量	→ 快適な大気環境の実現	②工場等立入指導件数【件】
工事の際の騒音振動や石綿(アスベスト)飛散による環境リスクの低減が図られ、安全で安心して暮らせるまち	③石綿(アスベスト)に関する法令違反件数【件】	工事現場から大気中への石綿飛散濃度、不適切な石綿除去作業の割合	→ 工事現場における環境リスクの低減	④解体工事現場への立入検査件数【件】

### 【施策の進捗状況を測る参考指標】

指標名		区分	指標種別	2018実績値	2019実績値	2020実績値	2021目標/実績値	2022目標値	2023目標値	2024目標値	2025目標値	2026目標値	2027目標値	2028目標値	2029目標値	2030目標値
①	VOC(揮発性有機化合物)排出量【kg】	継続	成果指標	8,364	8,610	9,273	9,078	8,888	8,701	8,518	8,340	8,164	7,993	7,825	7,661	7,500
②	工場等立入指導件数【件】	新規	活動指標	6	6	5	5	5	5	5	6	6	6	6	6	6
③	石綿(アスベスト)に関する法令違反件数【件】	新規	成果指標	12	4	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
④	解体工事現場への立入検査件数【件】	新規	活動指標	76	79	61	160	260	260	260	260	360	360	360	360	360

	指標の算出方法	指標の設定理由(施策目標との関係)	出典
指標①	工場等設置者から提出される報告書に記載されている排出量を集計	VOCは光化学オキシダントの原因物質であり、大気汚染の改善のための成果を示す指標である	環境年次報告書
指標②	区が実施する立入指導の件数を集計	大気汚染改善を目指す活動量を示す指標である	環境保全課統計資料
指標③	区の指導等により判明した法令違反の件数を集計	指導の成果を示す客観的な指標である	環境保全課統計資料
指標④	区が実施する立入検査の件数を集計	法令遵守を徹底させるための活動量を示す指標である	環境保全課統計資料

### 【参考】現基本計画の「施策の達成度をはかる指標」

指標名	指標種別	区分	出典	2014実績値	2020目標値	2025目標値	設定理由
VOC(揮発性有機化合物)排出量(kg)	成果指標	継続	平成26年度豊島区環境年次報告書	13,148	10,684	8,987	VOC排出量の減少に伴う光化学オキシダントの抑制が都市公害を防止するための取り組みの成果を示す指標のため

## 施策 5 - 3 - 1 3Rの推進



### 【目指すべきまちの姿】 SDGs を踏まえた2030年に実現するまちの姿

- 区民・事業者・区が、生産・消費・廃棄の各局面において、ごみの減量と資源化に高い意識を持ち行動するまち。
- 持続可能な循環型社会を実現するために、質の高い先進的なリサイクルを推進するまち。

### 【取組方針】

#### リデュース・リユースの意識啓発の充実

ごみ量の減少や環境負荷の低減を進めるには、3Rの中でも、特にリデュースやリユースを優先することの意識啓発を積極的に行うことが重要です。

リデュース、リユースの優先的実践を促すため、従来の冊子やイベント等による啓発に加え、SNS等の多様な情報媒体を活用し、意識啓発と行動変容を促進します。

【主な事業】 3R推進啓発事業／集団回収事業／資源回収事業／食品ロス削減推進事業

#### 先進的なリサイクルと分かりやすい分別の推進

国の新たな法制度の動きやSDGs未来都市の選定を受け、さらなるごみの減量とCO<sub>2</sub>の削減を目的とした先進的なリサイクルへの取組が求められています。

区民にとって分かりやすい分別・排出方法に配慮しつつ、国の新制度に沿った「プラスチック資源の分別収集」を導入していきます。

【主な事業】 3R推進啓発事業／資源回収事業／不燃ごみの資源化事業

### 【施策の進捗状況を測る参考指標】

成果を測る参考指標	現状値 (2020年)	目標値 (2025年)	参考値 (2030年)	活動指標	現状値 (2021年)	目標値 (2025年)	参考値 (2030年)
区民一人1日あたりのごみ量 【g/人日】	520	482	470	3Rに関して発信した件数 【回】	48	52	52



# 5-3-1 施策内容チェックシート

## 1. 施策名変更

	新	旧
施策名	同右	3 R の推進
[主な変更内容]		

## 2. 主な取組内容

新見出し	旧見出し
<b>●リデュース、リユースの意識啓発の充実</b> ◇多様な情報媒体を活用した3 R 推進のための意識啓発の充実	◇3 R 推進のための意識啓発の充実
<b>●先進的なリサイクルと分かりやすい分別の推進</b> ◇わかりやすく、出しやすい分別の推進 ◇プラスチック資源分別収集の導入	◇わかりやすく、出しやすい分別の推進 ◇自発的な活動への支援

## 3. SDGsを意識した点

- ◇目指すべきまちの姿として、「持続可能な循環型社会を実現する」など、SDGsの視点を盛り込んだ。
- ◇取り組む際には、「区民・事業者とともに考え」として、多様な主体との連携を意識した。
- ◇「誰一人取り残さない社会の実現」というSDGsの基本理念を意識し、多様な情報媒体による啓発を盛り込んだ。

### 意識したゴール



### 意識したターゲット

- 2.1 飢餓をなくし、すべての人々が毎日安全で栄養のある食料を十分に得られる
- 11.6 大気質改善・廃棄物管理に注力し、都市の環境上の悪影響を軽減
- 12.2 天然資源の持続可能な管理及び効率的な利用
- 12.3 1人当たりの食料廃棄の半減と食品ロスの減少
- 12.5 発生防止・削減・再生利用・再利用による廃棄物の大幅な抑制
- 13.2 気候変動対策を政策、戦略及び計画に盛り込む
- 14.1 海洋汚染を防止・削減する
- 17.17 公民、市民のパートナーシップ推進

### 意識したローカル指標

- 12.2 1人1日当たりのごみ排出量
- 12.5 ごみの資源化率

## 4. サステナブル・リカバリーを意識した点 (after/withコロナに向けた取組、DX (ICT活用) を意識した点)

- ◇新型コロナウイルスの感染拡大による影響やICT環境の変化により多様な情報媒体による情報発信が可能となっている。時代のニーズに合った多様な情報発信による啓発を目指す。

## 5. 参画と協働を意識した点

- ◇区民、事業者、行政など様々な主体が共通理解の下、互いに連携し一体となって取り組んでいくことが不可欠であることから、連携して取り組むことを明記した。

## 指標設定に向けたチェックシート

施策名	5-3-1	3Rの推進
部課名	環境清掃部 ごみ減量推進課	

### 【目指すべきまちの姿、取組方針と指標の対応関係】

目指すべきまちの姿	成果を測る参考指標	数値目標では捉えられない／現状数値化できない評価の視点	取組方針(見出し)	活動指標
区民、事業者、区が生産、消費、廃棄の各局面において、ごみの減量と資源化に高い意識を持ち行動するまち。	①区民一人1日あたりのごみ量【g/人日】		→ リデュース、リユースの意識啓発の充実	②3Rに関して発信した件数【回】
持続可能な循環型社会を実現するために、質の高い先進的なリサイクルを推進するまち。	③資源化率【%】		→ 先進的なリサイクルと分かりやすい分別の推進	④資源回収量【t】

### 【施策の進捗状況を測る参考指標】

指標名		区分	指標種別	2018実績値	2019実績値	2020実績値	2021目標/実績値	2022目標値	2023目標値	2024目標値	2025目標値	2026目標値	2027目標値	2028目標値	2029目標値	2030目標値
①	区民一人1日あたりのごみ量【g/人日】	新規	成果指標	523	528	520	513	505	497	490	482	480	477	475	473	470
②	3Rに関して発信した件数【回】	新規	活動指標	-	-	-	48	77	54	52	52	52	52	52	52	52
③	資源化率【%】	新規	成果指標	21.6	21.5	22.0	21.8	22.0	22.2	22.4	22.6	22.6	22.7	22.8	22.8	22.9
④	資源回収量【t】	新規	活動指標	14,802	14,859	15,516	14,766	14,720	14,673	14,627	14,580	14,572	14,565	14,557	14,549	14,542

	指標の算出方法	指標の設定理由(施策目標との関係)	出典
指標①	区収集ごみ量(t/年)÷人口÷年間日数	3Rの取り組みが、ごみ減量にどの程度反映されているかを判断する指標であるため	第四次豊島区一般廃棄物処理基本計画
指標②	イベント数、紙媒体の発行数及びデジタル媒体での発信数の合算	区が区民や事業者に対して情報発信した件数であるため	所管課データ
指標③	資源回収量÷(ごみ量+資源回収量)	区民・事業者・区が適切な役割分担に基づきごみを分別し、リサイクルを促進していることを示す指標であるため	第四次豊島区一般廃棄物処理基本計画
指標④	行政回収+集団回収+粗大ごみ資源化+不燃ごみ資源化によって回収した資源の量	区民・事業者・区が適切な役割分担に基づきごみを分別し、リサイクルを促進していることを示す指標であるため	第四次豊島区一般廃棄物処理基本計画

### 【参考】現基本計画の「施策の達成度をはかる指標」

指標名	指標種別	区分	出典	2014実績値	2020目標値	2025目標値	設定理由
「ごみを減らす努力やリサイクル活動が活発に行なわれている」と回答する区民の割合	成果指標	廃止	豊島区基本計画策定のための区民意識調査報告書	36.0%	40.0%	50.0%	ごみの減量についての区民の理解と、行動の状況が把握できる指標であるため

## 施策 5 - 3 - 2 安定的で適正なごみ処理の推進



**【目指すべきまちの姿】** SDGs を踏まえた2030年に実現するまちの姿

- 適正なごみ処理により、**美観と衛生が保たれた快適な都市空間の中で**区民がいきいきと暮らすまち。
- 廃棄物を持続的かつ安定的に処理するため、**排出者一人ひとりが責任をもって行動する**まち。

### 【取組方針】

#### 美観と衛生が保たれた快適な都市空間の構築

集積所への不法投棄をはじめとして、有害物質の不適正処理、事業系ごみの不適正排出など、ルールを守らないごみ処理が後を絶ちません。また、近年多発している大規模災害においても適正にごみを処理することが求められています。

**排出指導や巡回パトロールを強化し、適正分別・適正排出を徹底**していきます。また、**災害時に廃棄物を円滑に処理するため、災害廃棄物処理基本計画の周知と体制の整備**を図ります。

【主な事業】 廃棄物排出指導業務／不法投棄対策事業

#### 分別ルールや排出マナーの遵守

環境負荷の低減、最終処分場の延命化、清掃工場の安定稼働が求められる中、廃棄物を持続的かつ安定的に処理し続けるためには、**排出者一人ひとりの責任ある行動**が必要です。

小学生への出前講座、町会の清掃担当者会、商店街連合会等と連携しての普及啓発のほか、多様な媒体や多言語による発信等により、分別ルールの徹底や排出マナーの遵守等を働きかけていきます。

【主な事業】 廃棄物排出指導業務／不法投棄対策事業

### 【施策の進捗状況を測る参考指標】

成果を測る参考指標	目標値 (2021年)	目標値 (2025年)	参考値 (2030年)	活動指標	目標値 (2020年)	目標値 (2025年)	参考値 (2030年)
「ごみの収集が円滑に行われており街がきれいに保たれている」と思う区民の割合【%】	調査中	現状値を踏まえ設定	現状値を踏まえ設定	不法投棄回収件数【件】	4,303	4,050	3,800

# 5-3-2 施策内容チェックシート


## 1. 施策名変更

	新	旧
施策名	同右	安定的で適正なごみ処理の推進
[変更理由]		

## 2. 主な取組内容

新見出し	旧見出し
<p>●美観と衛生が保たれた快適な都市空間の構築</p> <p>◇適正なごみ処理による街の美観と衛生の確保</p> <p>◇災害廃棄物処理基本計画の周知と体制の整備</p>	◇適正な廃棄物処理の確保と環境美化の促進
<p>●分別ルール、排出マナーの遵守</p> <p>◇一般廃棄物処理基本計画に基づくごみ減量施策の推進</p> <p>◇ごみ処理に伴う環境負荷の低減</p> <p>◇事業者の自己処理責任に基づくごみ減量の推進</p>	<p>◇一般廃棄物処理基本計画に基づくごみ減量施策の推進</p> <p>◇ごみ処理に伴う環境負荷の低減</p> <p>◇事業者の自己処理責任に基づくごみ減量の推進</p>

## 3. SDGsを意識した点

<p>◇SDGsの目標11「住み続けられるまちづくりを」の視点と目標12「つくる責任つかう責任」の視点を盛り込んだ。</p> <p>◇区民、事業者、町会、NPOとの連携による取り組みを意識した。</p> <p>◇環境（廃棄物対策）と社会（生活の基盤や質の改善）と経済（来街者増加）の三側面の好影響を意識した。</p>		
<p><b>意識したゴール</b></p> 	<p><b>意識したターゲット</b></p> <p>11.6 大気や廃棄物を管理し、都市の環境への悪影響を減らす</p> <p>12.2 天然資源の持続可能な管理及び効率的な利用</p> <p>12.4 化学物質や廃棄物を管理し、環境への放出を大幅に削減</p> <p>12.5 発生防止・削減・再生利用・再利用による廃棄物の大幅な抑制</p> <p>17.17 公民、市民のパートナーシップ推進</p>	<p><b>意識したローカル指標</b></p> <p>12.2 1人1日当たりのごみ排出量</p>

## 4. サステナブル・リカバリーを意識した点 (after/withコロナに向けた取組、DX (ICT活用) を意識した点)

◇非常時の廃棄物処理について記載した。
---------------------

## 5. 参画と協働を意識した点

◇持続可能な循環型社会の実現及び快適な都市空間の構築に向け、区民、町会、NPO法人、事業者など多様な主体との連携を記載した。
--

## 指標設定に向けたチェックシート

施策名	5-3-2	安定的で適正なごみ処理の推進
部課名	環境清掃部 ごみ減量推進課	

### 【目指すべきまちの姿、取組方針と指標の対応関係】

目指すべきまちの姿	成果を測る参考指標	数値目標では捉えられない／現状数値化できない評価の視点	取組方針(見出し)	活動指標
適正なごみ処理により、美観と衛生が保たれた快適な都市空間の中で区民がいきいきと暮らすまち	①「ごみの収集が円滑に行われており街がきれいに保たれている」と思う区民の割合【%】		→ 美観と衛生が保たれた快適な都市空間の構築	②不法投棄回収件数【件】
廃棄物を持続的かつ安定的に処理するため、排出者一人ひとりが責任をもって行動するまち	③可燃ごみの分別率【%】		→ 分別ルールや排出マナーの遵守	④適正分別・適正排出に関して発信した件数【回】

### 【施策の進捗状況を測る参考指標】 \* 今年度実績値が判明後に設定

指標名	区分	指標種別	2018年度～2030年度実績値												
			2018実績値	2019実績値	2020実績値	2021目標/実績値	2022目標値	2023目標値	2024目標値	2025目標値	2026目標値	2027目標値	2028目標値	2029目標値	2030目標値
① 「ごみの収集が円滑に行われており街がきれいに保たれている」と思う区民の割合【%】	新規	成果指標	-	-	-	調査中	*	*	*	現状値を踏まえ設定	*	*	*	*	現状値を踏まえ設定
② 不法投棄回収件数【件】	新規	活動指標	4,419	3,680	4,303	4,250	4,200	4,150	4,100	4,050	4,000	3,950	3,900	3,850	3,800
③ 可燃ごみの分別率【%】	新規	成果指標	75.3	77.4	80.1	81.0	82.0	83.0	84.0	85.0	86.0	87.0	88.0	89.0	90.0
④ 適正分別・適正排出に関して発信した件数【回】	新規	活動指標	-	-	-	48	77	54	52	52	52	52	52	52	52

指標	指標の算出方法	指標の設定理由(施策目標との関係)	出典
指標①	区民意識調査の⑦みどり・環境の同質問に「どちらかというと思う」と回答した人の割合	ごみ収集についての区民の理解が把握できる指標であるため	協働のまちづくりに関する区民意識調査
指標②	清掃事務所職員が一年度間にゴミ集積所で回収した不法投棄の件数	まちの美観や衛生を損なう不法投棄を把握する指標であるため	所管課データ
指標③	調査で収集した可燃ごみ量÷正しく分別されていた可燃ごみ量	ごみが適正に分別されていることを示す指標であるため	廃棄物排出実態調査
指標④	イベント数、紙媒体の発行数及びデジタル媒体での発信数の合算	区が区民や事業者に対して情報発信した件数であるため	所管課データ

### 【参考】現基本計画の「施策の達成度をはかる指標」

指標名	指標種別	区分	出典	2014実績値	2020目標値	2025目標値	設定理由
区民一人1日あたりのごみ量(g/人日)	成果指標	継続	第三次豊島区一般廃棄物処理基本計画	571	516	462	区民・事業者・区が適切な役割分担に基づき、ごみの適正な処理を進めていることを示す指標であるため